

資料館だより

平成 19 年度(2007)通巻第 3 号

- 吉田炭鉦捲揚機座跡について
- 平成 18 年度事業報告
- 収蔵資料紹介
- 平成 19 年度事業予定
- 刊行物紹介
- ギャラリー利用案内



《 写真の紹介 》

平成 19 年 2 月、吉田に残る明治～大正時代の炭鉦捲揚機座跡が、立地場所が急傾斜であるため自然災害の恐れがあること、老朽化による倒壊の恐れがあることから、惜しまれながら解体されました。

以下『日炭高松組合十年史』からの抜粋です。

高松付近の石炭採掘も大いに進んだ。洋式炭鉦とならんで小坑口もさかんに出炭した。(中略)

島津の御輪地炭鉦は、このころ、もっともハイカラな洋式炭鉦であった。船舶用ボイラーをすえつけ、蒸気機関による捲揚、ポンプ装置をはじめとりつけ、郡

内では大辻鉦（現九採深坂鉦の前身）とともに当時、もっとも有名な炭鉦のひとつとなった。(中略)

吉田付近では、島津孫六の経営するほうおう（おおり）、御輪地、第二御輪地、島津の四坑区がさかんに出炭し、中西円蔵の河守鉦も出炭をつづけていた。なかでも、ほうおう鉦は、その後、もっとも盛大をきわめ、現在車返山村久馬氏裏山に赤煉瓦造りの捲揚機座跡を残している。

5 月の特別整理期間後、炭鉦捲揚機座跡について紹介を予定しています。

収蔵資料紹介

■ 高田一夫 版画7点

高田一夫(1906～1982)山口県徳山市生まれ。八幡製鐵所に勤める傍ら独学で木版画を制作。

国画展への出品・入選を通して棟方志功と親交を持ち、日本木画院の結成に深く関わり、労働者を題材とした版画作品を多く残す一方で、当時としては企業メセナ(文化支援活動)の早い例といえる職場絵画サークル生活美術協会を1952年に創立し、後進の指導に当たりました。1960年代以降は民芸運動に共鳴し、1961年からは日本工芸館小石原分館長を務め、1971～1978年にかけては研究誌『用と美』を編集・発行するなど、北部九州での民芸の普及活動に大きな役割を果たしました。



刊行物紹介

歴史資料館では、水巻町に関する書籍を事務室で販売しています。

あなたの町を再発見してみませんか！！



『北九州合戦史』	¥1,000 A5版 383ページ
『増補 水巻町誌』	¥4,000 A5版 630ページ
『水巻おもいでの写真集』	¥1,000 A4版 133ページ
『水巻の炭坑とその暮らし』	¥200 B4版 23ページ
『水巻昔ばなし』	¥1,000 A5版 295ページ
『わたしたちのまち水巻』	¥1,000 B5版 140ページ

平成 18 年度事業報告

■ 拓本入門講座

講師 筑紫拓本研究会会長水落龍勝先生

- 内容 第1回 拓本の採り方
第2回 道具作りと現地講習
第3回 現地講習
第4回 表装



■ 土笛づくり

図書館まつり(9月2日～3日)の一環事業として行いました。

今までの勾玉づくりに替わっての初めての試みでしたが、参加者全員が土笛を鳴らすことができ、職員一同ほっとしました。

鳴った瞬間の参加者の方々の笑みが忘れられず、次年度も計画しております。



■ 企画展『遠賀ほりかわ物語』

期間 11月10日(金)～12月24日(日)

来館者数 4,588名

- 内容 堀川の歴史とその役割
車返切貫の文化財調査結果
堀川の現状



新々堀川の河川改修工事に伴い、平成4～17年迄に行われた文化財調査結果を中心に発見された線刻文字の拓本を公開し、土木遺産として価値の高い吉田川伏越などを紹介しました。

期間中は、町内の方々はもちろん、県内外からも多くの方々が来館されました。この場を借りてお礼申し上げます。

また、2月9日の西日本新聞で企画展配布資料として作成した小冊子『遠賀ほりかわ物語』が紹介され、企画展を終了した今尚、各方面からの反響がやみません。

今後も現在へと続く水巻町の歴史をひも解いて皆様へ紹介できればと思います。

■ 遠賀川式土器づくり教室

講師 太田博敏先生(遠賀町立島門小学校教諭)

- 内容 文様の入った弥生時代の土器づくり
第1回 土器づくり
第2回 野焼き



平成 19 年度事業予定

日時・内容など変更になることがありますので、事前にご確認下さい。

■ 野鳥観察(多賀山周辺)

人数 先着 15 名

参加費 無料

期日 第 1 回 5 月 12 日(土)9:30~12:00

第 2 回 11 月下旬

第 3 回 平成 20 年 3 月中旬



■ 土笛づくり(図書館まつりイベント)

人数 先着 15 名×2 日

参加費 無料

期日 9 月 1 日(土)10:20~12:20

9 月 2 日(日)14:00~16:00



■ 遠賀川式土器づくり教室

人数 先着 15 名

参加費 500 円

期日 第 1 回 9 月中旬

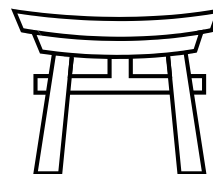
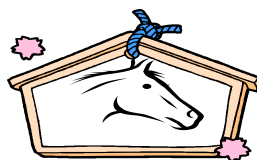
第 2 回 10 月下旬



■ 企画展『水巻町の神社・絵馬』(仮題)

期日 11 月 1 日(木)~11 月 29 日(木)

内容 水巻町内に所在する神社や絵馬の紹介



ギャラリー利用案内

歴史資料館の企画展示室は、町民ギャラリーとして、営利目的や宗教活動・政治活動・管理運営上支障がある場合などを除き、町内の方々に発表の場として無料で貸し出しています。

ご利用希望日の月を含む 3 ヶ月前~2 週間前迄に資料館事務室へお申し出下さい。

町民ギャラリーの利用状況は、水巻町ホームページでも公開していますので、空き状況をご確認下さい。

水巻町歴史資料館

807-0012 水巻町古賀三丁目 18 番 1 号

Tel 093-201-0999 Fax 093-201-0995

<http://mizumaki.fhl.ne.jp/index.php>